

富江まちづくり協議会事業



と もだちから家族へ み んなが住みたくなる え があふれる町づくり



地域の困りごとについて黒瀬地区で訪問アンケートを実施しました。

12月24日地域コミュニティ部会が開催されました。その中で地域の長寿介護課生活支援コーディネーターより、黒瀬地区に住む75歳以上の高齢者87人（うち入院中、施設入所にて調査できなかった人：23人）を対象に聞き取り調査を行った結果の報告を受けました。

調査期間は令和元年11月25日～12月15日。戸別に聞き取りを行い（只狩荘・社協・ミニデイ・民生委員の協力あり）地域の困りごとについて調査を行いました。

集計結果は以下のとおりです。

調査実施人数：64人

<年齢>

75～79歳	14人
80～84歳	19人
85～89歳	24人
90～94歳	7人

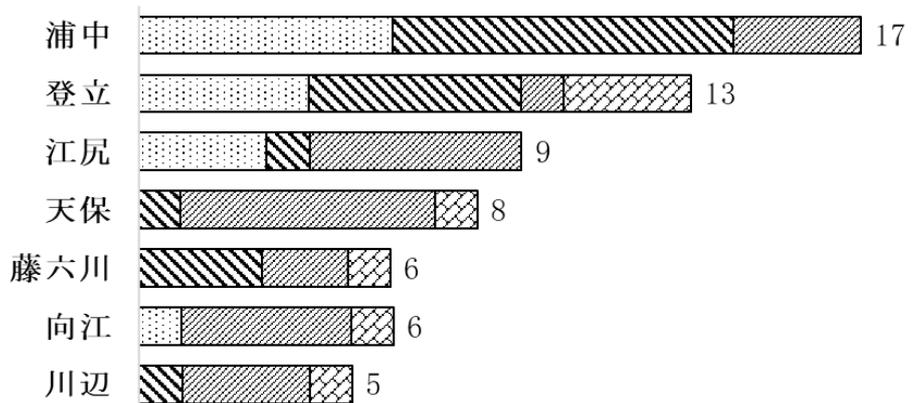
<性別>

男	24人
女	40人

<体調>

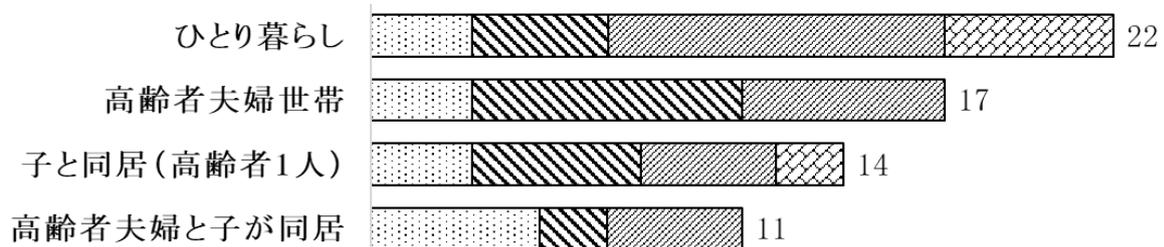
良い	46人(72%)
悪い	18人(28%)

地区別年齢



□75～79歳 □80～84歳 □85～89歳 □90～94歳

家族構成



<支援>

要支援(1・2)	6人(84～92歳)
要介護(1・2・3・4・5)	9人(81～94歳)
自立	49人(75～90歳)

認定は受けていない、介護保険や介護サービスには頼りたくない・頼らない、まだ自分でやれる・子供や家族がいるから大丈夫という意見は多く聞かれました。

<地域との交流>

あり	31人 (48%)
なし	33人 (52%)

- 黒瀬内での交流というより、他地区に出てからの交流が多い
- 高齢になるほど交流はしなくていいと答える人が多かった

<交流の形態・場所> 複数回答

交流場所	計	内訳			
		75~79	80~84	85~89	90~94
家で交流	13	3	2	5	3
井戸端会議	8	1	4	1	2
老人会	6	1	2	2	1
ミニデイ	6	1	2	2	1
仕事・趣味活動 他	6	3	1	1	1
グラウンドゴルフ・ペタンク	2	1	1	0	0
茶話会	2	0	2	0	0
ウォーキング	2	2	0	0	0

<困った時に地域に頼める人がいるか>

いる(ほぼ子ども)	49人 (77%)
いるけど遠慮があり頼めない(子ども)	9人 (14%)
いない	6人 (9%)

子どもがいて頼めるという回答がある反面、自分の子どもだが逆に遠慮があり頼みにくいという人もいた

<普段の緊急連絡先>

何もしていない	18人 (28%)
手帳やノートに書いている	16人 (25%)
連絡先を電話の横に貼っている	15人 (23%)
携帯に入れている	8人 (13%)
必要ない	7人 (11%)

<緊急キットを知っているか>

知っている	1人 (2%)
聞いたことはある	4人 (6%)
知らない	59人 (92%)

※救急キットとは
医療情報キットに、かかりつけ医や服用している薬などの情報を記載することにより、万一、病気やケガなどで倒れた時に救急隊員などが必要な医療情報を知ることにより、迅速・確実な救命活動につなげるためのものです。

<有料でも使ってみたいのは>

見守り・声かけ	12人 (18%)
病院の送迎	7人 (10%)
買い物	6人 (9%)
草とり	3人 (4%)
ゴミ出し	3人 (4%)
台風前の準備や片づけ	2人 (3%)
行政からくる書類のアドバイス	1人 (1%)
利用しなくていい	33人 (51%)

<地域でお手伝いできる活動は>

見守り・声かけ	2人 (3%)
草とり	2人 (3%)
病院の送迎	1人 (1%)
何もしたくない・できない	50人 (78%)

我が身のことで、生活することで精一杯という人がほとんどだった

みんなで考えよう
みんなのまちの
問題!!

【まとめ】 ◆買い物や通院などを中心に、生活全般を家族や子供に頼っている状況

◆毎日の生活をしていくことで精一杯で、地域との交流にまでは繋がっていない。

◆普段は、家族や子供に乗せてもらう人が多いが、子供だからこそ遠慮もある。

◆現在、家族以外の地区内の知人に乗せてもらう人はとても有難いと話していた。



富江まちづくり協議会事業募集 随時受付中！！

令和2年度 富江まちづくり協議会（富江地域の絆再生事業）事業提案用紙

あなたの「声」を待っています！

自分のアイデアで 提案⇒企画会議⇒主催事業決定！

富江まちづくり協議会 事業の募集

『主催事業』とは？
富江町の住民が主体となって計画・制作・実施する事業です。主催事業の実施を通して、市民参加・主導の事業機会を創ることを目指しています。

住民から提案を募集するのはなぜ？
地域に暮らす一人ひとりの地元への想いや、さまざまな興味を集め、皆さんと共に知恵や工夫を出し合い、主催事業として実現する「住民主体」の機会を大事にしているからです。「市民協働」の実践の一つです。

まちづくり協議会とは？
地域住民の行政の協働によるまちづくりを推進するため、住民同士がお互いに支え合う「地域の絆」の再生を図るとともに、地域の特性を活かしたまちづくりを推進する組織です。

●募集内容
・地域住民の交流や地域の振興につながる事業アイデア
・公益性や意欲、独創性が認められる事業アイデア

●お問合せ・提出先 五島市役所 富江支所内 富江まちづくり協議会事務局
TEL 86-1161 Fax 86-0193

まちづくり協議会では、地域の困りごとについてアンケートで集約した問題や、みなさんのこうなったらもっと地域が活性化できるのに・・・といったアイデアをこれからの事業につなげていきます。



<留意事項>

- (1) 内容は、富江町にこんなものがあったら程度ものでも構いません。思いつくままにアイデアを記入してください。
- (2) 但し、必ず実施できるとは限りませんのでご了承ください。
- (3) 提案方法：富江支所の備え付けの投函ボックスに投函ください。

事業名	・やりたいこと	
事業の内容	<目的>	・
	<内容>	・
発案者氏名		整理番号
住所		※事務局記入欄
連絡先		

※太枠内の欄のみご記入ください。

☆≡新規事業募集☆≡

富江まちづくり協議会では、地域でこんなことしてみたいなどのアイデアを募集しております。
あなたの思いをカタチにしてみませんか？興味のある方は、随時事業企画書を準備しておりますのでお気軽に集落支援員までお声がけください。

富江まちづくり協議会事業について紹介します！

(文化教育部会) ☆富江の歴史探訪事業費助成事業☆

富江の史跡をめぐる現地学習会を12月24日に実施しました。郷土の歴史を学習することで、郷土の魅力を再発見でき、誇りや郷土愛を再認識しました。

☆開催日時 12月24日(火) 9:00~12:00

☆内 容 : 地蔵坂等探訪会 ☆コ ー ス : 地蔵坂~田尾~宝性院の地蔵堂 ☆参加者 : 13名



(文化教育部会) ☆ブルーライン健康マラソン大会支援事業☆

今年で26回目を迎えた富江半島ブルーライン健康マラソン大会支援事業。

雨も心配されましたが小学生から大人まで約460名のランナーが参加。

たくさんの温かい応援、ランナーの笑顔、運営・ボランティアぜんざいの振舞い等、大盛況の事業でした。

☆開催日時 1月12日(日) 9:00~12:00

☆開催場所 さんさん富江キャンプ村



(まちおこし産業振興部会) ☆観光名所整備事業☆

市民ボランティアの募集及び告知(富江地区班回覧 チラシにてお知らせ)をしました。

参加申込人数29名でした。雑木伐採及び桜枝の剪定、雑草の草払い等を実施する予定でしたが、悪天候のため中止となりました。ご協力頂く予定だったボランティアの皆様、申し込みいただき誠にありがとうございました。

☆開催日時 12月22日(日) 9:00~12:00(悪天候のため中止)

☆開催場所 只狩山山頂



写真は平成30年度実施の様子

『まちづくりだより』は、富江町内の皆様に富江まちづくり協議会活動の情報を広くお伝えする広報紙です。

発行：富江まちづくり協議会 (富江まちづくり協議会事務局 五島市富江支所 地域振興班内)
五島市富江支所 地域振興班 電話：86-1161 FAX：86-0193